

## 下川町の豊かで個性豊かな自然環境で『遊び』と『学び』の観光を創出する

特定非営利活動法人 しもかわ観光協会

下川町には様々な自然環境が詰まっています。自然林や天然林はもちろん、急峻な川やその中でも緩やかな流れの区間もあり、滝も川を歩いて見に行くことができます。また、湿地や山岳、人工湖であるしもかわ珊瑚湖も2019年に完成となりました。このように多種多様な自然観光資源を有効に活用し、季節を問わず北海道内陸の遊びができるフィールドの探索と、お客様の受け入れ体制の構築を行い『遊び』と『学び』の観光創出に取り組んでおります。今回の助成では『下川町の自然資源を活用した通年観光プロジェクト』とし、川と森を活用した「リバーウォーク」「フローイング」「スノーシューイング」「しもかわボタリングガイド」という4つの企画の立ち上げ、実施をすることができました。まずは、それぞれの企画について紹介させていただきます。

「リバーウォーク」はその名の通り“川の散歩”です。ウェーダーという胸まである長靴を履き、川の中を歩きます。水の流れを足元に感じながら川を遡行し、川周辺ならではの自然を散策します。実施期間は5月初め～10月末まで。ツアー中には釣りや滝行（防水滝行もあり）など『川で遊べる事』全般を楽しんでいただくと共に、川の生態系や川の流れの説明、川との安全な付き合い方を説明します。この企画の目的は『川に親んでもらうこと』です。日本で生活していると川は忌避すべき危険な場所という印象が強いですが、しっかり知識を持ち、理解をすれば楽しい遊び場になることを知って頂きたいです。企画を立ち上げてから既に100名を超えるお客様にご体験いただき、好評の

企画となっています。

それに対して「フローイング」は、歩くことよりも“流れること”をメインに据えた企画となっております。フルウェットスーツとPFD（ライフジャケット）を着用し、体一つで川の流れを全身で感じる他に類を見ないアクティビティとなっています。リバーウォークでも足の着く場所で浮かんだりすることは可能ですが、フローイングでは名寄川本流で浮かびながら流れて進むことをメインに据えており、水深のある箇所を織り交ぜながら約2キロの距離を進みます。リバーウォークでは感じることでできない急峻な流れや、水面と水中での流れの違い等、川を見ただけでは知ることができない事を知り、実感として理解していただくことができます。天然のウォーター 슬라이ダーを滑ったり高所から飛び込んだりと、ラフティングやキャニオニングで行われている体験も同時にすることができ、水のアクティビティが好きな方は楽しんでいただけること間違いなしです。透き通っていて川底まで見ることができる水の中を流れていく体験を是非多くの方に体験していただきたいです。この企画は2020年度と2021年度でモニターツアーを実施しており、2022年度からの本実施を視野に準備を進めております。

「スノーシューイング」はスノーシュー（西洋かんじき）を履き、冬の森の中を散策します。内陸の町でありながらオホーツク海の塩気混じりのサラサラとしたパウダースノーを踏みしめ、積雪前では立ち入ることが困難な小さな沢を登っていきます。水源地帯が湿地となっている沢を登るのでゴツゴツとした危険な岩肌



リバーウォーク



フローイング

は無いものの、とてもユニークな地形をしており、ゆったりとした自然散策はもちろん、アスレチック感覚で楽しめるコースもご案内でき、幅広いお客様にご満足いただけます。夏には赴くことができない場所へ入り、地形や周りの木々、枯れた植物から夏の風景を想像することもこの体験の醍醐味となっています。また、この企画では『自然散策プラン』と『雪板体験プラン』をご選択していただくことができます。雪板体験とは、木の板に乗り雪の斜面を滑って楽しむ、この地域ならではのスポーツです。スノーボードよりも感覚的にはサーフィンに近いものとなっており、ペンディングで足を固定せず、板に乗るだけの自由度が高い遊び方が可能です。エッジ（板の周りの鋭い金具）が無いため、スキー場のような圧雪バーンでは操作ができず、パウダースノーが降る地域限定の遊びなので、良質な雪が降る下川町の特性を活かした体験となっております。

「しもかわポタリングガイド」は、下川町在住のガイドが同行し、ポタリングを楽しみつつ、街を案内する企画で、町内外のお客様にお越しいただいております。以前よりレンタサイクルサービスは行ってまいりましたが、自転車に乗りどこへ進んだら良いかわからないと感じるお客様のニーズに応えることが可能となりました。本格的なクロスバイクも導入し、より快適に下川町内でサイクリングを楽しむことが出来る環境が整いました。

紹介させていただいたこれらのプロジェクトを進める上で、お客様だけでなく町民にも町の豊かな自然やそれらを活用した観光事業について理解を深めていただくことを目的とし、札幌学園大学の准教授藤崎達也氏をお招きし『下川町観光ビジョン「つながりとチャレンジで潤う、しもかわ」の実現に向けて～観光ガイド事業創業・誘致・連携』という講演会とワークショップを実施しました。藤崎氏は特定非営利活動法人知床ナチュラリスト協会の代表理事をしており、知床のガイド会社SHINRAの社長を務めていた経験も持ちます。その観点から下川町における自然観光の可能性の検討や、町民が執り行うことをメインとしたガイド業、ガイド企画の設立に向けて意識すべき課題や販売

ルートなどについて町民で考える機会と場を作っていました。さらには、自然、特に河川を活用した観光を執り行うため安全管理を徹底するために、南富良野にある『どんころ野外学校』から新野和也氏をお招きし、河川における救助活動のノウハウを教えてくださいました。フローイングで実際に利用する区域を新野氏と共に流れ下り、その区域における危険箇所や注意すべき場所等様々なアドバイスを頂きました。加えて、SFR（スイフトウォーターレスキュー）の講習も受けさせていただき、町民6名の方がアメリカに本部を持つRESCUE 3という団体のレスキュー認定を得ることが出来ました。これにより下川町内に河川に関するレスキューが合計7名となり、参加人数の多いツアーにもサブガイドを増やすことでより安全性を確保したツアーを執り行えるようになりました。

今後は、現在実施しているこれらの企画内容をより良いものに充実させていくとともに、しもかわ珊瑚湖を活用したカヌー体験の現地調査を随時行うなど、新しい企画の立ち上げに向けて準備を進めてまいります。

最後になりますが、2020年より下川町の自然体験の楽しさを多くの方に知っていただく一つのツールとしてYouTubeチャンネルを開設し、当プロジェクト内企画の実施風景等を動画配信しております。『【Asobasal】あそばさるチャンネル』で検索していただき、是非ご視聴・チャンネル登録をお願いいたします。

『下川町の自然資源を活用した通年観光プロジェクト』は、町内外の多くの方々のご協力により当初の目的を達成することが出来ました。この場を借り、改めて感謝を申し上げます。今後も町や周辺地域の活性化のため、より良い観光サービスを目指して活動してまいりますので、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



スノーシューイング